

# 全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

## 平成19年度事業計画

### 1. 地球温暖化防止の国民的運動の実施

京都議定書の発効をうけて、地域でのユニークな取組を掘り起こして地域で広め、国民一人ひとりに省エネなどの地球温暖化防止の取組を促進するための国民的運動を実施する。

#### (1) 様々な国民的運動の実施

国民一人ひとりに省エネなどの地球温暖化防止のための具体的な取組を促進するために様々な国民的運動を実施する。

#### (2) 現時点で具体化されている活動

##### 一村一品・知恵の環事業

各都道府県センターが中心となって、地域の創意工夫を活かした優れた取組をとりまとめることにより地域の地球温暖化対策の一層の推進を図るとともに、全国に情報発信することを通じて地域間の連携の創出を図ることにより、地球温暖化対策を推進することを目的とした事業を実施する。

##### 「くらしの省エネ」の普及啓発

都道府県センター等と連携しつつ、住宅展示場や住宅フェア等の場を活用して省エネ住宅、省エネリフォーム、太陽光発電、高効率給湯器などの代エネ・省エネ住宅設備について住宅施主への普及啓発を行うモデル事業を支援する。

##### 省エネ家電の普及啓発

都道府県センター等と連携しつつ、「省エネ家電普及講座」等を実施して消費者に情報提供を行うとともに、中小家電小売店を対象に出張講座や合同研修を行い、省エネ家電の普及のために情報提供を行うモデル事業を支援する。

##### 環のくらしの普及啓発

環のくらしの普及啓発のため地球温暖化に関する情報を整理し、環のくらしホームページで提供する。

##### 百万人の環キャンペーンの実施・キャンドルナイトとの連携

夏至の時期に「百万人の環キャンペーン」を「1000000人のキャンドルナイト」と連携しつつ実施する。

### ライフスタイルフォーラム

ライフスタイルフォーラム実行委員会の事務局として、パートナーシップによるフォーラム（19年11月に新宿御苑にて開催予定）の実施を支援する。

### 気候の危機シンポジウム

地域住民の健全な危機意識を醸成するために、都道府県センターなどと連携して、気候の危機シンポジウムを引き続き開催する。

## 2. 広報・普及啓発事業

地球温暖化問題についての一般の認識の向上や地球温暖化防止のための行動の促進を図るために、様々な広報・普及啓発活動を効果的に実施するとともに、ストップおんだん館事業とも連携しつつ、普及啓発のための手法やツールの開発と普及を行い、地域における普及啓発活動を支援する。また、全国センターホームページを戦略的に活用する観点から充実させる。

### (1) 地球温暖化問題についての様々な広報・普及啓発

地球温暖化問題についての一般の認識の向上や地球温暖化防止のための行動の促進を図るために、様々な広報・普及啓発活動を効果的に実施する。

### (2) 普及啓発のための手法・ツールの開発・普及

#### 普及啓発手法・ツールの収集・開発及び提供

新たな普及啓発の手法やツールを開発し、ストップおんだん館において活用を図るとともに、各地域における普及啓発活動に提供する。

#### パンフレット等の提供

各種パンフレット類を必要に応じ改訂・増刷するとともに、必要な場合には新たなパンフレット等を作成する。それらを各地域における普及啓発活動に提供するとともに、ストップおんだん館で活用する。

### (3) 地球温暖化防止月間行事の実施

ストップおんだん館を中心に12月の地球温暖化防止月間の事業を実施するとともに、地球温暖化防止活動大臣表彰の募集、審査、表彰式を行う。

### (4) ホームページの見直しと活用

#### 全国センターホームページ及びストップおんだん館ホームページの充実

全国センターのホームページ及びストップおんだん館ホームページのコンテンツの拡充、アクセシビリティの向上等を行い、地域の普及啓発活動のツールを提供するとともに、より内容の充実した、利用しやすいホームページを実現する。

### 3 . 環境学習支援事業

小中学校の総合学習や高等学校の授業における環境学習、自治体・環境N G O 等による環境学習において地球温暖化をどのように取り入れてもらい、何を学んでもらうかは、今後ますます重要となるテーマである。このため、環境学習ツールの制作及び活用の促進、ストップおんだん館の活用などにより、学校や地域の環境学習を支援していく。

#### 地球温暖化問題に関する環境学習用ツールの制作

学校、放課後クラブ、地域での環境学習などで教師や推進員、N P Oなどが使いやすい環境学習ツールを制作して、地域で活用してもらう。

#### 指導用教材の活用の促進

都道府県センター等と連携して、全国または地域での環境学習研修会、環境教育研究会などでの教師等への普及活動、推進員研修などにおける推進員への普及活動、都道府県センター職員や推進員などによる出前授業での活用の支援などにより、17, 18年度に制作した指導用教材の活用を促進する。

また、全国センターのホームページの環境学習プログラムのページにおいて、指導用教材や関連データをダウンロードできるようにするとともに、教材の活用事例がわかるようにして、指導用教材の活用の支援を行う。

#### ストップおんだん館での環境学習支援

ストップおんだん館における総合学習や修学旅行の受け入れ、夏休み企画等を通じて、環境学習を支援する。また、地球温暖化を学習する際の教材、手法等を開発し、指導者や地域のリーダーに向けた研修や貸出し等を行うことで、その活動を支援する。

### 4 . 情報基盤整備事業

地球温暖化及びその防止活動に関する基本的情報を体系的に整備するとともに、調査研究により、家電製品等の技術情報、国内の地球温暖化防止活動事例等を整備し、ホームページを含む様々な手段で提供する。また、全国センターホームページについて戦略的に活用する観点から見直しを行う。

#### (1) 地球温暖化に関する基本的情報の体系的な整備及び提供

##### 基本情報の体系的な整備と提供

各事業と連携しつつ、地球温暖化及びその防止活動に関する各種の基本情報を体系的に整備し、ホームページ等を通じて提供する。特に、19年度においては、I P C C 第4次報告書の内容をわかりやすい情報として提供するとともに、地域

での普及啓発において活用できるようなツールを提供する。

#### 技術情報の整備と提供

最新のエネルギー効率のよい家電製品等の技術情報を整備し、冊子、ファクトシート、ホームページ等を通じて提供する。

#### 国内の地球温暖化防止活動事例の収集及び提供

一村一品・知恵の環事業と連携して、国内の自治体、N G O等の地球温暖化防止活動の具体的事例を収集し、ストップおんだん館、研修、セミナー/ワークショップ等を通じて情報提供を行う。

### (2) ホームページの見直しと戦略的活用（再掲）

#### 全国センターホームページの充実

## 5 . 都道府県センター、推進員等の研修及び支援事業

地域における地球温暖化問題への認識の向上、地球温暖化防止活動の促進を進めるために、都道府県センター職員や推進員等の地域の活動主体の能力向上、都道府県センターや推進員等の活動の支援、交流の場の提供を行う。

### (1) 研修の実施

#### 都道府県センター職員等研修

平成19年度においては、

地域で活用できる最新の地球温暖化及びその防止に関する知識の習得を図ること

地域での地球温暖化防止の取組を一層促進すること

センターの運営等に関する経験の交換の機会を提供すること

センター職員の各種のスキルアップを図ること

を基本方針として、次の3つのタイプの研修を実施する。

- I P C C 第4次報告書などの最新知見を修得する基本研修
- 各地域で展開できる実践的な知識・アクションなどの実践活動推進型研修（地域での広報戦略、温暖化対策先進事例）
- 都道府県センター職員の問題解決のスキルアップのための研修（推進員活動戦略、センターの運営戦略）

その際、東京以外の地においても研修を実施する。

#### 地球温暖化防止活動推進員研修の実施等

推進員の活動のために必要な技術情報、知見、実践能力の向上のために、都道府県センター及び都道府県を通じて推進員研修を実施する。

### ストップおんだん館における研修等の実施

都道府県センター職員、推進員等の活動主体の普及啓発手法等の実地研修を行う。また、各主体とのパートナーシップのもとに、特定のテーマを取り上げたセミナーやワークショップを開催して、当該テーマに関心の深い地域の活動主体の情報や経験の交流を図る。

## (2) 都道府県センター等の支援

### 都道府県センター設立の支援

都道府県センターの設立にあたっての各種の支援を行う。

### 都道府県センター便覧の作成

都道府県センターの19年度の活動概要がわかる便覧を作成し、各都道府県センター等に配布する。

### 共通テキスト等の作成及び提供

研修等の充実を図るため、センター職員や推進員の研修の共通テキスト等を開発し、提供していく。

## (3) 地域の活動主体の交流

### 地球温暖化防止活動推進員等の交流会

推進員等の地域の活動主体の代表の交流会を開催し、相互の経験の交流、新たな手法・ツールの習得等を行う。

## 6 . N P O等との連携事業

ストップおんだん館などにおいて、N P O等とのパートナーシップのもとに各種の活動を行う。

### ストップおんだん館におけるイベント開催

ストップおんだん館において、N P O等とのパートナーシップのもとに各種イベントを開催する。

### 会議室の貸し出し

N P O等にミーティング、セミナー等の活動の場を提供する。

## 7. ストップおんだん館の事業

ストップおんだん館を普及啓発、研修・相談、環境学習、情報ライブラリーの場として活用するとともに、NPO等とのパートナーシップのもとに、セミナー、ワークショップ、各種イベントを実施し、地球温暖化防止活動の促進を図る。

ストップおんだん館は、4年目に入るので、初心に戻って活動全体を見直すとともに、地域へ、学校へ、一般へと活動の幅をさらに広げていくことを目標とする。

### 入館者数の確保

学校や一般への広報、外部イベントへの出展などを通じて認知度を高め入館者数の増大をめざす。19年度の入館者の目標は17,000人(18年度見込みは15,000人)とする。

### プログラムの開発と展示替え

新たな普及啓発手法の開発、リピーターの確保などの観点から、年間を通じてメリハリをつけながら展示替えを継続的に行う。併せて、展示物に関連するプログラムの開発・充実に努める。

#### 【展示替え】

7月(夏休み展示替え)と12月(冬の展示替え)に主要な展示替えを行うとともに、初夏(5月)、秋(10月)及び春(3月)に季節の展示替えを行う。

#### 【プログラム開発】

新たな展示については、必要と思われるプログラムを開発する。また、既存のプログラムについても、随時見直しを図る。

### 予約プログラムの拡充

予約プログラムの申込数の拡充を図るために、先生とのコミュニケーションや学校などへの広報を強化する。また、修学旅行関連団体の媒体を活用して修学旅行でのおんだん館の利用促進を図る

### おんだん館ツールの貸し出し

現在49種、137セットある貸し出しキットの拡充を図るとともに、新規展示の貸し出しキット化を早めに行うことなどにより、外部からの需要に応えとともに、貸し出し実績の増大を図る。

### 研修への対応

おんだん館には、研修の一環として来館するグループ、おんだん館ツールの使い方を知るために来館するグループ(人)などがあり、また、おんだん館スタッフが推進員研修など外部の研修会に講師を依頼されるケースも増えているので、それらに対応できるような研修プログラムを整備して効果的な対応を図る。

### おんだん館イベントの開催

おんだん館での親子向け、大人向けの各種イベントの回数を増やすとともに質を向上させることにより、来館者の集客を図るとともに、地域の活動者などへの支援を行う。これらの催しを様々な主体と協働で行うことで、地球温暖化防止活動のすそ野を広げる。

### 外部イベントへの出展

「エコライフフェア」(6月)、「ライフスタイルフォーラム」(11月)、「エコプロダクツ展」(12月)、「こどもエコクラブ全国大会」(3月)などの大きな環境関連イベントに出展し、ストップおんだん館の広報の機会を増やすとともに、地球温暖化防止の普及啓発に務める。

以 上